

機械器具(06) 呼吸補助器
管理医療機器 酸素供給用経鼻カニューレ 35201000

アトム酸素鼻孔カニューレ HF

再使用禁止

【警告】

- 1) 本品の使用前に、酸素供給回路に閉塞等がないか、必ず確認すること。
[重症事故や死亡事故を招く恐れがあるため。]
- 2) 使用中は常に患者の状態を監視し、回路の外れや閉塞等に充分注意すること。
- 3) 接続の合わない機器には使用しないこと。
[酸素漏れを招く恐れがあるため。]

【禁忌・禁止】

<併用医療機器>

- 1) 人工鼻を併用しないこと。
[人工鼻のフィルタが過度の吸湿により閉塞する恐れがある。]

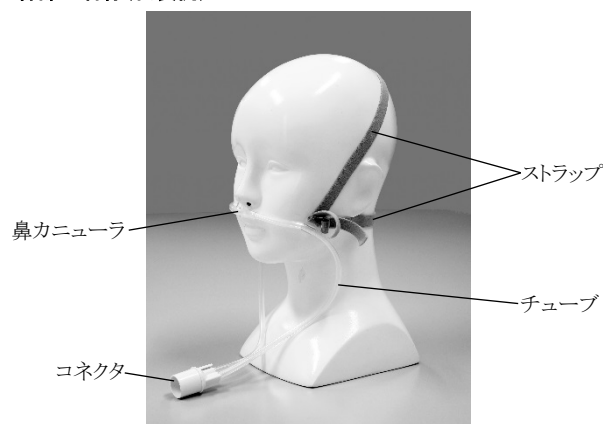
<使用方法>

- *1) 再使用禁止。一患者限りの使用とすること。
- 2) 本品を使用している近くでは火気厳禁とすること。
[爆発や火災の原因となるため。]
- 3) 本品をいかなる方法であれ滅菌しないこと。

【形状・構造及び原理等】

本品は、ポリ塩化ビニル(可塑剤:フタル酸ジ(2-エチルヘキシル))を使用しています。

1. 各部の名称(代表例)



2. 原理

患者装着部、酸素供給ラインおよび酸素供給源への接続部で構成される経鼻酸素投与用のカニューレである。

【使用目的又は効果】

本品は、経鼻的に患者に酸素を投与するために用いるカニューレである。

【使用方法等】

- 1) 本品を使用する前に、包装及び本品に汚れ、破損等がないことを確認する。万が一、異常が認められた場合は使用せずに廃棄すること。
- 2) 鼻カニューレの鼻孔挿入部を患者の鼻部に装着し、ストラップを首の後ろと後頭部にかけて、ストラップの長さを調節する。
- 3) 酸素供給源または加温加湿器に、本品のコネクタを確実に接続する。
- 4) 医師の処方に従って酸素濃度・流量を設定し、酸素投与を開始する。

【使用上の注意】

<重要な基本的注意>

- 1) 他社の加温加湿器と組み合わせて使用する場合の安全性については、加温加湿器の製造元へ確認すること。
[給水不良等が発生する恐れがあるため。]
- 2) 他社の空気・酸素混合装置または流量計と組み合わせて使用する場合の安全性については、空気・酸素混合装置または流量計の製造元へ確認すること。
[設定流量に対し供給流量が減少する等、示度に誤差を生じる可能性があるため。]
- 3) 接続を意図する機器のみと接続すること。
- 4) 包装の開封後、すぐに使用すること。
- 5) 過度の力を加えたり、無理な使用をしないこと。
[本品の破損の原因となるため。]
- 6) 本品のポリ塩化ビニルの可塑剤であるフタル酸ジ(2-エチルヘキシル)が溶出するおそれがあるので、注意すること。
- 7) チューブを折り曲げたり、ねじったりしないこと。
[破損・閉塞の原因となるため。]
- 8) 本品を酸素供給源、加温加湿器に接続する場合は、確実に接続されているか確認すること。
- 9) 患者の鼻孔の大きさに適したサイズの製品を選択し使用すること。
[サイズが合っていないと、鼻孔部に潰瘍などを起こす可能性があるため。]
- 10) 患者に使用する前に、本品の鼻孔挿入部より空気・酸素混合ガスが出ることを確認すること。
- 11) 使用中は、患者の状態を観察しながら慎重に使用すること。
- 12) 医師の指示に従い、必要に応じて患者の血中酸素濃度を、パルオキシメータまたは血液ガス分析装置などにより確認すること。
- 13) 使用中は、漏れ、外れ等がないことを定期的に確認すること。
- 14) 本品を踏んだり、ものを載せたりしないよう注意すること。
- 15) 患者の呼吸量によって酸素濃度が変化するため、希望の濃度が得られるよう酸素供給量を調節すること。
- 16) 使用中、本品と接触する部位に発疹などが生じた場合は、直ちに使用を中止し、診断の上で代替処置等を施すこと。
- 17) 回路内に結露が発生した場合は、患者に結露水が流入しないよう適切な処置を施すこと。
- 18) 回路を交換する場合、病院で規定されている感染防止のためのガイドラインに沿って交換すること。
- 19) チューブを酸素供給源等から外す場合、チューブ部分を持たず、コネクタ部分を持って外すこと。

【保管方法及び有効期間等】

<保管方法>

水ぬれに注意し、高温多湿、直射日光を避けて保管する。

<有効期間>

使用期限は外箱に記載 [自己認証データによる。]

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

■製造販売業者

アトムメディカル株式会社

〒338-0835 埼玉県さいたま市桜区道場 2-2-1

TEL:048-853-3661(大代表) FAX:048-853-0304(代表)